

事業所名		放課後等デイサービスジョバンニの森				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		1 日	
法人（事業所）理念		様々な経験や専門性を有している職員が利用児童の持つ無限の可能性を事業所が計画する様々な療育プログラムを通して促進し、健全な心身両面の成長を促すことを目的とする。													
支援方針		利用児童本人並びにそのご家族の成長における課題や困難をしっかりと理解、把握した上で、それぞれに適し個別化したプログラムを用いて支援を行う。													
営業時間				時		分から		時		分まで	送迎実施の有無		<div>あり</div> なし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ 毎回利用時の心身の把握（毎回バイタル測定・気分把握）・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所時） ・ 構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援（視覚的及び言語的に理解しやすいように配慮した具体的に表示） ・ 臨床心理士・公認心理師指導によるSST、ABA及び言語聴覚士・看護師等専門職による作業療法的支援によるなどによる身体的、精神的、社会的訓練													
	運動・感覚	・ 施設及び公園など周辺施設を活用したストレッチ、ラジオ体操、縄跳び遊び等の軽い運動 ・ ブランコ・シーソーなど施設遊具を利用したの運動並びに体幹姿勢保持 ・ ピアノ講師によるリトミックや音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 ・ 感覚過敏児用のイヤーマフ配備など環境設定													
	認知・行動	・ 個別・集団学習を通した天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成 ・ 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・ 粘土、スライム遊びなどを通した物質の変化と感覚の認知形成 ・ レゴブロック遊びによる空間把握の認知形成 ・ 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・ 感覚、認知の偏りに対するリフレーミング ・ 季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動													
	言語コミュニケーション	・ 毎回のはじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・ 毎回の終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 ・ 個別または小集団での障害の特性に応じた読み書きをはじめとした学習支援 ・ 視覚優位児童に対するルールなどを絵や絵カードを使って視覚化													
	人間関係社会性	・ アタッチメント形成（面談で自尊心を高める・認める） ・ レクリエーションプログラムを通した見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・ 一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ・ 料理教室や外出活動などを通した役割分担のある遊びなどの協同遊び ・ ミニゲームを通したルールの理解が必要な遊びや集団活動 ・ クリスマス会・餅つき大会などイベントなどを通した地域との交流													
家族支援		定期開催する保護者会並びに専門家講演会を開催し、相互交流を図りピアカウンセリング機能を促進する。 子育てをはじめ家庭問題に対するソーシャルワーカーをはじめとした専門家による相談会の開催						移行支援		・ 保育所・幼稚園・児童クラブなどへの移行支援 ・ 卒業などライフステージの切り替えを見据えた将来的移行準備 ・ 学校・保育所・児童クラブ及び地域社会など地域資源との交流					
地域支援・地域連携		保育所・学校・病院・福祉行政など地域資源との緊密な情報共有と連携をはかる ・ 地域行事に対する積極的な参加						職員の質の向上		・ 事業所内及び外部講師を迎えた研修会の定期開催 ・ 職員の専門領域に捉われない外部研修並びに資格取得への積極的参加促進					
主な行事等		花見やプール遊び、紅葉狩り・フルーツ狩りなど四季折々の自然を感じることが出来る野外活動を土日祝日また夏休みなど長期休みに積極的にプログラムする。 ・ 毎日のプログラムの中にも学習支援をはじめ上記5領域を以て健全な心身両面をはぐくむ活動を行う。													